



Picture This: Caring for the Earth

開催趣旨

UNDPは、国際社会のミレニアム開発目標(MDGs)達成にむけた支援に力を注いでいます。気候変動の影響が明らかになるにつれ、MDG7(環境の持続可能性確保)の達成は、アフリカにおいて特に重要となっています。

2009年12月に開催される国連気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)にむけ、気候変動に対する認識を高める取り組みの一環として、UNDP、オリンパス株式会社と AFP財団は本写真コンテストを開催しました。

アフリカ各地で撮影された入賞作品は、自然環境の管理人・保護者として生きるアフリカの人々の姿を写し出すことで、環境保護の大切さを訴えています。

入賞作品は、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイ氏をはじめとする著名な環境活動家と写真家によって構成される審査委員会によって選ばれました。11月18日にニューヨークで行われた授賞式で発表された後、各主催者ホームページにて公開されています。また、日本を皮切りに南アフリカそして国連本部での巡回写真展が開催される予定です。入賞者にはオリンパスからのデジタルカメラが贈呈され、プロ部門優勝者にはAFPアフリカ局が主催する写真家育成のためのインターンシップ招へいが授与されます。

Access (会場案内図)



Picture This: Caring for the Earth

世界を写そう 「地球のことを考える」 写真展

展示期間 | 2009年11月25日(水)～12月1日(火)

時 間 | 10:00～19:00(最終日のみ16:00まで)

場 所 | 新宿モノリスビル1F アトリウム
東京都新宿区西新宿2-3-1

主 催 者 | 国連開発計画(UNDP)
オリンパス株式会社
AFP財団

後 援 | 外務省

入場無料

審査員



マーク・ガーテン氏 (Mark Garten)

国連写真部門チーフ。プロカメラマンとして24年前より国連の姿をとらえつづける。コフィ・ナン前国連事務総長、そしてパン・ギムン事務総長とともに、多くの国を訪問し、歴史的な場面を人々に伝えている。



ジョン・アイザック氏 (John Isaac)

1978年に国連のチーフカメラマンに就任。これまで100カ国以上において国連のプロジェクトの撮影をしているほか、若手の育成に力を注ぐ。多くの国際的な写真賞のほか、2000年に国際写真会議より生涯功労賞を受賞。



ワンガリ・マータイ氏 (Wangari Maathai)

ナイロビ大学教授。「もったいない」運動で知られるケニアの環境保護活動家で2004年ノーベル平和賞受賞者。1977年に農村部の女性による植林活動「グリーンベルト運動」を創設、これまで4000万本の木を植樹。



ピーター・マグバニ氏 (Peter Magubane)

世界的評価を得ている南アフリカ出身の写真家。半世紀以上前からアパルトヘイト政策への反対運動を始めとした、南アフリカ解放の闘いを撮り続けている。これまでマーチン・ルーサー・キング賞をはじめ、多くの賞を受賞している。



パオラ・マッサンナ氏 (Paola Messana)

フランス通信社(AFP)ニューヨーク支局長。ジャーナリストとして活躍、同通信社の写真ディレクターも経験。1990年より15年間モスクワ支局で、チェchen紛争やソビエト崩壊を取材し、旧ソ連諸国におけるAFPのネットワークを構築。



Professional Category

Amateur Category

Honorable mention

プロ部門

ケニアのアースデー#2
Kenya Earth Day #2

撮影者 | Jacob Otieno(ケニア)

アースデーに植樹を行うケニアの環境活動家たち

ボレナ族の女性
The Borena撮影者 | Eva-Lotta Jansson(南アフリカ／スイス)
雨水を貯留する池を拡張するために働く
エチオピアのボレナ族の女性治療を受ける大地
A Sick Landscape Given Therapy

撮影者 | Hlompho Letsielo(レソト)

浸食した水路を石を使って補修する
レソトの人々

アマ部門

環境に優しい結婚式
Green Wedding

撮影者 | Simon Ndegwa(ケニア)

結婚式に記念の植樹を行うカップル

未来を変える若者たち
Youths for Change

撮影者 | Caesar Kachale(マラウイ)

マラウイで果樹に接ぎ木する方法を学ぶ子供たち

劣化した土地での森林再生
Reforestation on Degraded Soil

撮影者 | André Dikwa(カメルーン)

土壤劣化により放棄された土地で
森林再生に取り組むカメルーンの女性たち

選外佳作

ケニアのアースデー#1
Kenya Earth Day #1

撮影者 | Jacob Otieno(ケニア)

アースデーを祝いパフォーマンスを行う
ケニアのマサイ族有名な農夫
The Famous Farmer

撮影者 | Eva-Lotta Jansson(南アフリカ／スイス)

エチオピア南部で自分の掘ったかんがい用水路を
確認する Huka Balambalさん

Photo Essay Category



フォト・エッセイ部門

やさしい手
Caring Hands

撮影者 | Faiza Hajji Wozniak(モロッコ)

Wozniak氏が設立したフランスとモロッコを結ぶフェアトレード企業 Ifassen の物語。投棄されたビニール袋を減らし、モロッコ人女性が正当な収入を得られるよう支援するIfassenは、ビニール袋を回収し、アフリカハネガヤの繊維と組み合わせて籠やバッグを製作・販売しています。

自分たちの環境に心を配る
Taking Care of Our Surroundings

撮影者 | Ali Barisa(ケニア)

Barisa氏はケニアのマサレ青少年スポーツ協会のスラム地区清掃プロジェクトに参加する子どもたちを記録しました。



スラム地区に暮らす大半の人々はとても貧しく、不衛生な住環境によって、マラリアやコレラなどの病気が多発しています。環境を改善すべく、毎週、少年サッカーチームのメンバーは町を清掃し、公有地や学校に木を植えています。

打ち上げられたマナティを救う
Saving a Manatee That Washed Ashore

撮影者 | Djibril Sy(セネガル)

セネガル、ダカールのフォトジャーナリストSy氏は、同国北部のマタムで開催された音楽祭の取材に訪れ、絶滅危惧種のアフリカマナティを救出するカネル村の獵師たちに出会いました。彼らは乾季にセネガル川の水たまりで身動きがとれなくなったマナティを見つけると岸へ運び、体に水をかけながら祈りを捧げ、マナティをセネガル川の本流に戻しています。



主催者からのメッセージ

Organizers



ヘレン・クラーク [国連開発計画(UNDP) 総裁]

「Picture This: Caring for the Earth(世界を写そう: 地球のことを考える)」コンテストの受賞作品は、アフリカ各地の人々が、それぞれの地域から自然環境を守るために活動する姿をとらえています。私たちは、12月に各国首脳がコペンハーゲンの国連気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)に集まる時にむけて、この写真に登場するような人々の声を広く伝えなければなりません。なぜなら、途上国の人々は気候変動の影響によって、もっと多くのものを失う立場にあるからです。



菊川 剛 [オリンパス株式会社 代表取締役社長]

このコンテストは普通に生活する人々が行う環境保護活動に、スポットライトを当てています。このような人々の活動が結集することによって、私たちの地球を守るために大きな公約を示すことにつながります。民間企業として、また個人として、この地球を守るために活動に今参加しなければ、私たちを含めたすべてが、痛手を受けることになるでしょう。国連グローバル・コンバクト参加企業として、オリンパスはミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けて積極的に行動しています。



ロバート・ホロウェー [AFP財団 理事]

気候変動は国境を越えた問題であり、世界の様々な人々が気候変動の影響に対し、どのように協力して立ち向かっているかを記録するメディアの役割は非常に重要です。そして、その記録がまた他の人々の行動を促すことにつながります。AFP財団では、このコンテストのプロフェッショナルそしてアマチュアの写真家たちが生み出したイメージに勇気づけられ、今後とも彼らと協力していくことを待ちにしています。